

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		がん検診受診率向上対策					所管	健康部 保健サービス課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	76	計画事業名	がん予防対策の充実			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現 [施策] 16 がん対策の推進					[事業開始]	平成 2 5 年度	
	根拠法令等	その他	[法令等名]	健康増進法第19条の2(市町村による健康増進事業)					
	事業対象	直接の対象 : 胃・大腸・肺・乳がん検診:40歳以上 子宮頸がん検診:20歳以上 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	がんの早期発見・早期治療、死亡率減少のため、検診と検診結果の精度管理を確実にし、がん検診の質の向上と受診率の向上を図る。							
	事業内容 [H30年度]	○がん検診精度管理委員会(26年度まではがん対策検討会)の代替として、胃がん内視鏡検査準備検討会を実施し、将来的な内視鏡検査導入に関する検討を実施。 ○検診結果の把握(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん) ○検診対象者(胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん)への受診勧奨・再勧奨の送付 ○その他、がんに関する啓発・周知							
	委託の有無	一部委託	委託内容		勧奨・再勧奨の印刷・印字・封入封緘委託				
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	がん検診精度管理委員会開催回数	回	1	1	0	0	2	0.0%
	成果指標	がん検診受診者数(5がん)	人	43,500	40,437	42,837	43,034	41,400	103.9%
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			5,903		5,725		6,114
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			6,015		6,704		7,053
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			5,804		5,602		5,844
		総経費			99		122		270
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			11,918		12,428		13,167
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0		
一般財源(区負担額)			1,866		1,841		2,676		
課題及び今後の進め方	死亡率減少のためには、がん検診において要精密検査と判定された方の、確実な二次検診(精密検査)受診が重要であるが、全てのがん種において受診率が低調となっている。二次検診受診に繋げるためにも、引き続き、検診結果の把握を進めながら、効果的な受診勧奨を行うなどの周知啓発が必要である。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	がんの早期発見、早期治療を促進し、死亡率を減少させるためには、がん検診の質の向上とともに、受診率向上が必要不可欠である。						
	効率性	3	前年よりコストを維持しながらも、受診者数は大幅に増加している。また、精度管理委員会開催の代わりに胃がん内視鏡検査準備検討会を4回開催し、国の指針に基づいた検診実施体制の検討を重ねた。						
	手段の適切性	3	東京都が実施するがん検診精度管理評価事業に基づくデータを分析し、両医師会・検診委託医療機関と実施体制を検討し、課題に取り組んでいる。						
目的達成度	4	継続して受診者数が増加しており、区民のがん早期発見・早期治療につながっている。また、胃がん内視鏡検査準備検討会を4回開催し、安全・安心な検診体制構築に向けた検討を重ねた。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
質の高いがん検診をより多くの区民に受診してもらうことで、がんの早期発見・早期治療につながる。コストを抑えながらも、内視鏡検査準備検討会の実施や、要精密検査判定者の把握を進めることで、質の高いがん検診の整備が進み、また、受診者数が大幅に増加している。引き続き、事業目的の達成のために、受診率向上と着実な精度管理を進めていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	